

G20 首席農業研究者会議（G20MACS）の結果（概要）

1. 日時：平成 31 年 4 月 24 日（水）～ 26 日（金）
（※24 日は宮城県で東日本大震災被災地の農業復興事業等を視察）
2. 場所（25～26 日）：日本・東京（ホテルグランドパレス）
3. 主催：農林水産省
議長：岩永勝 農林水産省顧問（国際農林水産業研究センター（国際農研）理事長）
4. 出席者

（1）我が国

農林水産省：吉川農林水産大臣（レセプション）、高鳥農林水産副大臣（開会での歓迎挨拶）、高野農林水産大臣政務官（レセプション）、岩永農林水産省顧問（議長）、別所農林水産技術会議事務局長、島田研究総務官、鴨志田国際研究官他

農研機構：久間理事長、松田理事他、国際農研関係者

- （2）G20 メンバー代表（亜、豪、伯、加、中、仏、独、印、尼、伊、墨、韓、露、サジ、南ア、土、英、米、EU）
※なお、G20 メンバー全てが G20MACS に出席したのは今回が初めて。
- （3）招待国（蘭、西）
- （4）国際機関（国際農業・バイオ科学センター（CABI）、国際農業研究協議グループ（CGIAR）システム管理事務局、国際熱帯農業センター（CIAT）、国際とうもろこし・小麦改良センター（CIMMYT）、国際食料政策研究所（IFPRI）、国連食糧農業機関（FAO）、国際植物防疫条約（IPPC）事務局、農業分野の温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス（GRA）、世界銀行）

4. 概要

- （1）今回の MACS で、我が国は議長国として「越境性植物病害虫」及び「気候変動対応技術導入のための社会実験的アプローチ」に関する研究の国際連携の推進を主要な議題として取り上げた（参考：議事次第）。
- （2）「越境性植物病害虫」については、食料安全保障と環境に対する深刻な脅威となっていることが認識された。病害虫の発生や管理に関する G20 メンバー等の経験や最新情報を共有し、効果的な対策のための研究連携を促進するため、本年にワークショップを開催することを我が国から提案し、支持された。
また、研究機関等のネットワークの構築及びネットワーク内外の関係者の自発的交流が奨励され、関心を持つ G20 メンバーが共同研究等の研究協力を促進できることが確認された。そして、G20 農業大臣に対し、越境性病害虫の研究協力を促進するため、これらの活動を支持することを提言した。
- （3）「気候変動対応技術」については、革新的な農業技術の開発と実践により持続可能な食料生産を支え、農業分野の温室効果ガス（GHG）を削減することができるという見解が共有された。気候変動対応技術の開発と普及に関する経験と最新情報を共有し、研究連携を促進するため、本年にワークショップを開催することを我が国から提案し、支持された。
また、関心を持つ G20 メンバーが、気候変動対応技術の導入に関心を

有する国との間での研究連携を強化できること、このような連携には、社会実験的アプローチを用いた現場での実証事業の実施が含まれ得ることも確認された。そして、G20 農業大臣に対し、これらの研究連携を強化する自発的な活動を支持することを提言した。

- (4) 過去の MACS から生じた作業部会及びイニシアチブの活動状況が認識された。特に、農業生態系リビングラボ (ALL) アプローチ (※) が、持続可能な農業のための新しい革新的な技術の導入を加速・拡大することに資するものであると認識された。

また、MACS から生じる作業部会及びイニシアチブのための指針案を次回の G20MACS の前に作るためのタスクフォースが新たに立ち上げられることが合意された。

- (5) 最後に、来年の G20 議長国であるサウジアラビア代表から、次回の G20MACS の展望について紹介がなされた。

※農業生態系リビングラボ (ALL) : 新規及び既存の農法及び技術の効果を改善し早期の採用を図るため、実際の環境において農業者、科学者及びその他の関心を持つパートナーがこれらの農法・技術の共同設計、モニタリング、評価に関与する学際的アプローチ。

以上

G20 首席農業研究者会議 (MACS) 議事次第

4月25日(木)：会合1日目(会場：ホテルグランドパレス(東京))

- 09:00 - 09:05 開会(議長(岩永農林水産省顧問))
- 09:05 - 09:15 開会での歓迎挨拶(高鳥農林水産副大臣)
- 09:15 - 09:40 基調講演(久間農研機構理事長)
- 09:45 - 12:50 2018年G20MACSの合意事項の検討状況フォローアップ
- 総論(報告者：日本)
 - 土壌(報告者：フランス及びロシア)
 - 農業生態系リビングラボ(報告者：カナダ及び米国)
 - 農業技術共有(報告者：中国)
 - 食品ロス・廃棄の低減(報告者：ドイツ)
- 14:30 - 18:00 越境性植物病害虫
- 19:00- レセプション(吉川農林水産大臣、高野農林水産大臣政務官)

4月26日(金)：会合2日目(会場：ホテルグランドパレス(東京))

- 09:00 - 12:30 気候変動対応技術導入のための社会実験的アプローチ
- 13:30 - 17:30 コミュニケ作成
- 17:30 - 17:50 2020年G20MACSの展望(次期開催国サウジアラビア)
- 17:50 - 18:00 閉会